

第1回 市民ワークショップ

〔活動記録〕

日 時：令和4年11月20日（日）13時30分～16時00分
場 所：JA南さつまふれあいセンター 大会議室
参加者数：28名（市民16名、アドバイザー1名、設計者7名、担当職員4名）
主 催：南九州市（新庁舎建設推進課）
記 録 者：山下設計・ゲンプラン設計 業務委託共同企業体

南九州市では、令和8年度の新庁舎供用開始に向け、今年度から設計業務に着手しています。

今回は設計段階の第1回目のワークショップとして、基本構想時のワークショップのおさらいと、計画敷地、新庁舎の計画概要などの説明をおこない、まちづくりの拠点として みんなが集まる庁舎に対する多様なご意見をいただきました。

プログラム

1. 現場視察・現地説明
2. 主催者挨拶・趣旨説明
3. ワークショップの概要・進め方
4. グループワーク①新庁舎はどうあって欲しい？何がしたい？
5. グループワーク①まとめ・発表
6. グループワーク②それを実現するためには何が必要か？それはなぜか？
7. グループワーク②まとめ・発表
8. 本日のまとめ

1. 現場視察・現地説明

はじめに、参加者全員で計画敷地を見学し、設計担当者から敷地の特徴と現時点での新庁舎の計画の説明を行いました。

敷地の規模感や、新庁舎の建設位置等を体感し、後ほどのグループワークでのアイデア出しにつながる説明を行いました。



2. 主催者挨拶・趣旨説明（新庁舎建設推進課）

新庁舎建設推進課から、新庁舎建設の必要性や、今後の事業スケジュール等について趣旨説明を行いました。また、基本設計を進めていく上で、今回のワークショップ等を含め市民の皆さんのご意見を反映させていきたいと挨拶いたしました。

3. ワークショップの概要・進め方

アドバイザー 福島 大輔氏（NPO法人桜島ミュージアム理事長）より、今回のワークショップのグランドルール説明を行いました。些細なことでも発言することや、他の人の意見を受け入れることや、積極的に意見を出していくことの必要性をご説明頂きました。



4. グループワーク①新庁舎はどうあって欲しい？何がしたい？

基本構想時のワークショップのおさらいや、事例写真についての説明を受けて、「新庁舎の在り方」「新庁舎でやりたいこと」などをキーワードとして、各グループに分かれて付箋に書き出しました。

【新庁舎の在り方】についての主な意見

「市外の人でも立ち寄りやすい庁舎」「市民の憩いの場となる庁舎」「3地域の歴史、文化を反映する」「環境に配慮する」「市のシンボルになる」など

【新庁舎でやりたいこと】についての主な意見

「展望デッキから市を眺めたい」「映画を上映したい」「作品展を開催したい」「インスタ映えするカフェで寛ぎたい」「広場でイベントを行いたい」「キッチンカーを集めてマルシェをしたい」「足湯を楽しみたい」など

【その他】

「自治会ごとの花壇を育てたい」や「お茶むらいのフィギュアを設置したい」など南九州市らしさのPRに関する意見も出されました。

グループの意見が出揃ったところで、類似した意見や関連のある内容ごとに付箋をまとめ、意見を整理・集約していきました。



5. グループワーク①まとめ

各グループで出された意見をまとめ、それぞれ発表してもらいました。

出された意見の中から多いものを、**A.エンターテインメント**、**B.イベント**、**C.文化**、**D.駐車場**、として4つのキーワードにまとめました。

次のグループワーク②から、4つのキーワードについて意見を出していただくため、参加者はそれぞれ興味のあるテーマに分かれました。

その後の休憩中も、参加者の皆さんは会場中央に設けた模型を見ながら、意見交換を行ったり、アイデアを出し合ったりしていました。



6. グループワーク②それを実現するためには何が必要か？それはなぜか？

A.エンターテインメント、B.イベント、C.文化、D.駐車場というキーワードを元に、**必要なモノ、コト**を考えて頂き、**その理由**を、各グループに分かれて付箋に書き出しました。

【エンターテインメント】

必要なモノ、コト：「Eスポーツ」「ボルダリング」「インスタグラム等のフォトフレームの設置」など

理由：「健康増進のため」「多世代交流のため」「市のPRのため」など

【イベント】

必要なモノ、コト：「看板の設置」「屋外トイレ」「イベント受付担当課」など

理由：「多くの人を呼ぶ」「利便性」「市で適切に管理するため」など

【文化】

必要なモノ、コト：「展示内容に合わせた設備」「移動式パーティション」「お茶むらいの屋上設置」など

理由：「作品の劣化を防ぐため」「様々な形式の展示を可能にするため」「市のPRのため」など

【駐車場】

必要なモノ、コト：「電気自動車の充電ステーションの設置」「倉庫、車止め、外灯の設置の有無」「イベント時と日常使いの転換」

理由：「多くの人が使えるようにするため」「防犯のため」「利便性のため」など



7. グループワーク②発表

グループ毎に今回出された意見をまとめ、それぞれ発表を行いました。それぞれのテーマに対して必要なモノ、コトのアイデア出しに加え、その理由を考えることで、ニーズを把握することができました。直接的な計画はできないモノやコトでも、ニーズを把握することで、設計に反映しやすくなり、設計者へのイメージを湧かせる内容になりました。



8. 本日のまとめ

最後に新庁舎建設推進課より、「参加された皆さんから活発な意見を出していただき、良い雰囲気の仕事となった。現段階の案はまだ決定ではなく、これからどんどん設計の中身を詰めていく中で、皆さんからいただいたアイデアを参考に設計案をお示ししていきたい。次回はより具体的な内容についてワークショップを進めていきたい。」とのコメントがありました。